

脱炭素の暮らしを目指して ～たはらゼロカーボンシティ～

近年の地球温暖化の影響で、海岸が侵食されたり、ゲリラ豪雨が頻発したり、農作物への影響が心配されたりするなど、本市においても地球温暖化は他人事ではなくなっています。地球温暖化を防ぐために、温室効果ガスの「排出量」から、植林や森林管理による「吸収量」と再生可能エネルギーによる「削減量」を差し引いた合計が実質ゼロになる「カーボンニュートラル」を目指す動きが世界で進んでいます。日本でも2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする社会（脱炭素社会）を目指すことが宣言されています。本市においても、市民、事業者、行政が脱炭素社会の実現に向けた持続可能な地域づくりを進めることにより、2050年までに本市の二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「たはらゼロカーボンシティ」を目指すことを令和3年1月28日に表明し、さまざまな取り組みを進めています。

環境政策課 ☎ 23・7401



ゼロカーボン先生

ゼロカーボンって何？

二酸化炭素を減らし、太陽光などの再生可能エネルギーの導入や森林などの吸収源を増やすことで、2050年までに排出される二酸化炭素を実質ゼロにすることです。

ゼロカーボンシティって何？

2050年までにゼロカーボンを目指すことを表明した都市のことです。令和5年3月31日現在、934の自治体が表明しています。

たはらエコ・ガーデンシティ推進計画が新しくなりました

田原市では、2050年までに「たはらゼロカーボンシティ」の実現を目指すことを踏まえ、たはらエコ・ガーデンシティ推進計画を3月に改定しました。



◀ たはらエコ・ガーデンシティ推進計画やその他の取り組みなど、詳しくはこちらをご覧ください。

公共施設への太陽光発電や、風力発電施設などの脱炭素エネルギーを導入



たはらエコフェスタ、親子エコッキングなどを開催し、エコライフを推進

